

～全国縦断 がんサバイバー支援ウォーク IN YAMAGUCHI～

日本対がん協会会長の垣添忠雄先生が、全国がん（成人病）センター協議会加盟 32 病院を半年間かけて訪問される旅「全国縦断*がんサバイバー支援ウォーク」が 2 月 5 日から始まっています。がんサバイバーの方々を支援することを目的とした挑戦です。その 6 番目の訪問先として 2 月 20 日、当院へ来院されました。

当日は、がんサバイバーの方々や当院の職員で盛大にお迎えしました。意見交換会では、サバイバーの方から、医療者と積極的に意見が言い合えることが大切であり、社会ががんに対して無関心であるため、社会人教育が大切である等の意見がありました。垣添先生からは、「がんサバイバーは、孤立感や不安感に苛まれて生きていることが多く、孤立させないためにも行動に移したいとの思いで、このサバイバー支援ウォークをすることを決意した。」と、始められた経緯や、がんに関心を持ってもらえるために行動につながるような仕掛け作りが必要であることなどを述べられました。

垣添先生が、残る約 5 ヶ月間のサバイバー支援ウォークを安全に続けられることを願いながらお見送りしました。

次の訪問先は、2 月 28 日兵庫県立がんセンターです。

*がんサバイバーとは、がんに一度でもかかった方のこと

